



栽培方法にこだわり母娘で守り抜くぶどうの味

藤崎 洋子(71)
福知 宏美(48)

藤崎ぶどう園の歴史は、昭和38年両親と祖父母が90aの畑での巨峰作りから始まります。昭和44年母が嫁いだ当初から、ホルモン剤を使用せず手間を掛けて丁寧作りあげる事を貫いてきました。それにより出来上がったぶどうは甘味も強く、9割のリピーターを持ちネット販売や宣伝をしなくてもお客様同士で評判を呼び、全国から依頼があるそうです。

宏美さんが就農したのは、父が体調を崩し廃業を決意した平成26年でした。生れ育ったぶどう園と父の栽培方法を失くしたくない、その一念だったそうですが、ぶどう作りの大変さを熟知している父は反対し、顧客への廃業報告のハガキまで出し、今日が最後という日に、ようやく就農の許可が父から出たそうです。

その日から6年目を迎え、現在は30aのぶどう畑と40aの柿畑、落花生や薬物野菜を母娘2人で作っています。ぶどう作りは父の教えどおりホルモン剤を使わない方法にこだわり出荷間近には、ハウスのビニールを外し直射日光に当てるなど丁寧で手間の掛かる作業も欠かせません。その甲斐があり例年2週間程で完売となります。

2人での栽培面積は限りがあり、供給が間に合わないため希少価値も付き、お客様からお客様への味つながりで広まっています。

「うちの味を求めてくれるお客様が居るから、これからも今までのやり方にこだわって守り抜いてゆく」と、力強く話す宏美さん、暖かく見守る洋子さん。

“味つながり”素敵な言葉がとても印象に残りました。ぶどうは子孫繁栄の縁起の良い果物です。

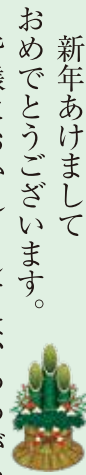
香取の農業も益々繁栄して行きますようぶどうを新年スタート号に選びました。

(農業委員 寺島 美幸・平川 君子)

新年のあいさつ

香取市農業委員会

会長 伊藤 寛



新年あけまして
おめでとうございます。
皆様におかれましては、つつがなく
新しい年をお迎えのこととお慶び

申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、これまでに経験のない規模の台風や豪雨などによる自然災害の脅威を痛感した年でした。この災害の経験から、今後は防災意識を高め、多くの人が自助、共助の大切さを認識しなければならぬと思います。

本年は、「災い転じて福となす」ということわざにもあ
るように、幸福な年になることを願っているところで
す。

私ども農業委員会は、「農地利用の最適化の推進」につ
いて、農業委員と農地利用最適化推進委員が共に手を携
えて、農地利用の最適化に取り組み、市民のための限ら
れた資源であり、かつ、地域における貴重な資源である
農地の確保と有効利用を図り、将来に引き継いで行く担
い手の育成・確保の取り組みを一層強化していかなか
ければならないと考えております。

このため、これまで以上に活動の強化を図るとともに、
農業者の皆様にご協力いただいた活動を展開して参りたいと決
意を新たにしております。

農業者が将来に希望を持って、安心して農業経営に取
り組むとともに次世代につなぐことができる農業を実現
するためにも、皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りま
すようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご健勝を心からご祈念申し上
げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

印旛・香取ブロック別合同研修会

石橋 清勝 農業委員

昨年10月25日、令和元年度印旛・香取ブ
ロック別農業委員・農地利用最適化推進委
員の合同研修会が栄町ふれあいプラザさか
え文化ホールに於いて開催されました。

当市からは農業委員16名、農地利用最適
化推進委員19名が参加し、農地法4条・5
条の具体例や農地中間管理事業、また、「人・
農地プラン」の策定などについて講義を受
けました。

現在、市内のどこの地域に於いても担い
手不足や遊休農地の増加傾向が問題となっ
ています。

今回の研修会で農地中間管理機構は地域
の将来を考えるための手段であり、その地
域に農業振興の農地を残していくためには、
日頃から5年後、10年後を見据えた地域で
の話し合いが大切であると同時に、「人・農
地プラン」が担い手対策の重要な事業であ
ることを認識された有意義な研修会でした。



香取市市民表彰の報告

昨年11月7日に、長年(12
年以上)農業委員会活動を通
じて、市政発展と農業行政の
振興への貢献が認められ、表
彰されましたのでご報告いた
します。

大堀 潔 農業委員



香取市農業振興支援金のお礼と報告

「香取ふるさとまつり」の農
業委員会ブースで、農業振興
支援金へのご協力をお願いし
多くの皆様から温かいご支援
をいただき、深く感謝を申し
上げます。昨年12月2日

81,500

6円を農

業委員会

の役員よ

り、市長

にお渡し

いたしました。

誠に誠に

ありがとうございます。

誠に誠に

ありがとうございます。



農業委員会は、昨年秋の「香取のふるさとまつり」に参加しました

山田ふれあいまつり

11月3日(日)の文化の日に山田支所市民広場で開催された「山田ふれあいまつり」は、多くの野菜をはじめとする特産品や地元農産物で作る加工品、岩手県山田町からの新鮮な海産物の販売もありました。



農業委員会のブースでは、恒例の「ジャンボカボチャ重量当てクイズ」を行い、500名以上の方の参加をいただきました。恒例となった重量当てクイズ(今年は、なんとピツタリ賞が出ました。69.4kgも毎年、好評です。来年も大勢の皆様のご参加を期待いたします。

栗源のふるさととも祭

11月17日(日)栗源運動広場をメイン会場とし「栗源のふるさととも祭」が開催されました。



農業委員会で例年「自分で見て、触れて、食べる、自然を感じて遊ぼう」をテーマに「いも掘り体験広場」を今年も栗源地区の農業委員、農地利用最適化推進委員、元農業委員の皆様協力により運営がされました。(今年の種類…ベニアズマ・シルクスイート)
お客様の中には県内外から来た方や家族・子供連れも多く普段は味わえない土の感触を楽しみ、掘った芋を両手一杯に満面の笑顔で楽しんでいただきました。

ふるさとフェスタさわら

11月24日(日)香取コミュニティセンター敷地内において開催されました。



農業委員会ブースでは、「新米の配付(3合分)」「農政よろず相談会場」「農業者年金加入の推進」を開設。
また、恒例の「大かぼちゃ重量当てクイズ」では、300名を超える応募があり、自分より大きなかぼちゃを持ち上げようとする老若男女で賑わい、重さで意見が分かれる女性のグループなど様々でした。(今年の正解重量…45.7kg)
入賞された方々には、多数の地域の特産品が贈られ会場を沸かせていました。

新潟県視察研修(令和元年10月10日中央農業委員会・10月11日尾崎泉地区生産組合)

片野 壽夫 農業委員

最適化を推進するために、その見聞を広める事を目的とし新潟市中央農業委員会を訪れました。当農業委員会からは、農業委員・農地利用最適化推進委員27名の参加となり説明を受けました。新潟市の耕地面積は市町村別で全国第1位を誇っており、その面積は32,900haを有しています。ここでは農業委員・農地利用最適化推進委員が地域の方々の意向を聞き、それぞれの地域に合った方法により農地の集積を図り、農地中間管理機構の事業の活用を行っている事が印象的でした。
今回の視察研修を通して、今後の香取市としても農業委員・農地利用最適化推進委員が知恵を絞リ努力をして行かなければと感じました。



山田 宏一 推進委員

三条市「尾崎泉地区生産組合」の農場規模としては新潟県内でTOPクラス。とにかくそのスケールの大きさ、初めて見る設備・機械、作業の組み合わせ、組織としての運営の仕方など終始衝撃を受けっぱなしでした。印象的だった事の1つには、田植え、稲刈りは組合のオペレーターが行い、その間の維持管理は地権者が行っている事でした。
また、稲刈後の粉砕については、粉砕碎機により細かくし、その後田んぼへ肥料として返していました。このような実証されている農法から今回の視察研修は意義のある1日となりました。



農地の売買・転用等の申請受付期間並びに総会予定表 <2020年1月～2020年6月>

年 月	受付期間 (土日祝日は除く)	総会開催日
2020年1月受付分	1月16日(木)～20日(月)	2月6日(木)
2020年2月受付分	2月17日(月)～20日(木)	3月6日(金)
2020年3月受付分	3月16日(月)～19日(木)	4月7日(火)
2020年4月受付分	4月16日(木)～20日(月)	5月8日(金)
2020年5月受付分	5月18日(月)～20日(水)	6月5日(金)
2020年6月受付分	6月16日(火)～19日(金)	7月7日(火)

農業者年金はメリットがたくさんある終身年金です！

- あなたの老後生活への備えは充分ですか？
- 年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です。
- 老後の備えは国民年金プラス**農業者年金**が基本です。

農業者年金に加入すれば ～農業者年金の受給額の試算～

加入年齢	納付期間	保険料 納付総額	年金額(年額)		平均余命までの受給総額	
			男性	女性	男性	女性
20歳	40年	960万円	77万円	65万円	1,645万円	1,742万円
30歳	30年	720万円	51万円	43万円	1,092万円	1,156万円
40歳	20年	480万円	30万円	25万円	646万円	684万円
50歳	10年	240万円	13万円	11万円	288万円	305万円

※上のケースは、通常加入で保険料月額2万円で加入し、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以降の予定利率が0.35%となった場合の試算です。受給総額は65歳での農業者年金加入者について想定している平均余命を考慮し、男性86.5歳、女性92歳まで生存した場合の金額です。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
 今回は、母娘でこだわりの縁起の良い果物ぶどう栽培する農家をとり上げました。地道に栽培し着実に顧客をつかみ着実に成果を上げています。

昨年11月26日に千葉市・青葉の森公園芸術文化ホールで開催された千葉県農業会議主催の「令和元年度経営力強化・農地集積促進シンポジウム」で、事例報告がありました。その中で30歳台の若い新規参入者が中間管理機構を活用し、稲作に取組み実績を上げていること。又、業務用加工キャベツで先輩の指導を受け課題を解決し活躍している姿に元気づけられました。本年も関係各位のご指導宜しくお願いたします。

編集長 栗林 利男

